中日ニュース

シネスコ版

道新 No.103 千億予算案─定例道議会 一106呎 (本編トップへ追加)

高知新 No.260 本編同じ

新愛媛 No.88 〃

山口新 No.101 カメラスケッチ 下通路コース 小鳥 162呎 (本編スポーツとさし替え)

No. 425 37.3. 9

スポーツ

一、矢尾板世界バンタムへ第一歩

世界フライ級第一位からバンタム制覇を狙う矢尾板は、メキシコのクワテ・サンチェスと対戦、最近とみに円熟味を増した矢尾板は軽快なフット・ワークから左のダブル・フックと多彩な攻ゲキをみせ、クワテを一方的に下しここに世界のバンタム級へ第一歩をふみ出したのです。

81呎

一、東京の寺小屋

東京では都心人口の減少が激しく、学校の整理統合が叫ばれていましたが、その第一番手に日本橋の明正小学校が決りました。ところが父兄たちは廃校に猛反対して二月十七日から子供たちを一斉休校に入りました。この地区は殊に交通地獄のひどいところで廃校が極り、学校が遠くなると子供たちはますます危険にさらされるのです。

父兄たちは私立中学、風呂屋さんなどあちこち場所をかり臨時教室を開いて学力低下を防いでいます。三月七日には衆院文教委員会も現地調査にのりだしましたが、新学期も目前に迫りなりゆきが注目されています。

200呎

アイモ風土記

一、開らけゆく武蔵野

――土地騒動記

なら、くぬぎの雑木林の中に深い詩情をただよはせる武蔵野、その武蔵野も今日高度成長を背景に一、〇〇〇万を突破したマンモス東京のベッド・タウンと化しています。かつての畑や林はみる影もなく、そこには近代的なアパートが建ち並んでいます。

こうした武蔵野の開発は土地ブローカーもからんで、そこに住む農民にとってゴールド・ラッシュの様相さえみせています。畑が宅地に化けて坪何んと三万円、武蔵野をしのばすかやぶき屋根の農家は洋風のモダンな家に次々と建て直されいたる所新築ブームをみせています。こうした中で住宅公団は久留米で新たに三十万坪を買収、だが、そこで待ったをかけたのが旧地主、もともとこの地は俺のもの、農地改革のおかげで土地を得た新地主（小作人）が、今又うるおっては面白くないと農地訴訟連盟を通して総額一億八千万円の分け前をよこせと訴訟を起したのです。一方農地開放者連盟に所属する旧地主は六、〇〇〇億円の補償を要求、自民党へ圧力をかけています。

こうして武蔵野の開発と農地の転用は今や政治問題の様相すらみせているのです。

379呎

660呎

製作配給 東京中日新聞 中部日本ニュース映画社